

がある。

(六) 霧

肱川流域、中でも大洲盆地の霧の発生は、県下では最大級で、久万盆地とともに多い。その肱川(小田川)の支流である中山町の霧の発生は少ない。昭和三五年からの一〇年間の観測によれば、年間平均五・三回である。国道五六号線の新長沢橋付近などに、局地的な霧の発生が見られ、その発生回数は町中心部より多い。

この霧の発生は、晴天で風の弱い夜、地表面が放射のために冷却し、空気も地表面に近いところから冷やされてできる放射霧がほとんどである。夜半から朝方にかけて発生し、次第に消滅する。

第三節 自然災害

一、自然災害の概要

自然現象により、人間生活に好ましくない状態に達し

た場合を自然災害という。自然現象には、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象があり、これらの自然現象と、地形・地質など、複雑な要因がからみ合って、土砂災害、気象災害、水災害、地震災害など様々な自然災害をもたらすことになる。

二、中山町の災害の概要

中山町の自然災害は、地形・地質などから考えると、土砂災害が最も懸念されている。

町内の、ほぼ全域を覆う三波川帯は、日本における代表的な地すべり多発地帯であり、中でも緑色片岩地域や黒色片岩地域に多い。

三波川帯の地すべり地は、谷底からはるかに高い山腹急斜面で、畑中心に土地利用されている、比較的厚い風化崩積土層などで発生している。急傾斜地の礫質土であるため、多量の降水時に崩壊を起こすことがある。地すべり地の斜面が長い場合、上方の地域を含めると集水量が多くなり、地下水水位が急激に上昇し、高い地下水水位

年	月・日	災害種別・概要
昭和三〇(一九五五)	九・六	・台風(枕崎台風) 県下で死者・不明一八二人
昭和三〇(一九五五)	九・二九	・台風 県下の全半壊一七、八九八戸
昭和三〇(一九五五)	一〇・一〇	・台風(阿久根台風) 県下で死者一五人、家屋の全半壊一三三戸
昭和三二(一九五七)	七・二九	・台風 県下全域で死者六人
昭和三二(一九五七)	三・二三	・地震(南海地震) 県内震度四・五、

地質面から見て、大きな被害が予想される。これらの自然災害防止のために、町行政も、防災計画を立てて懸命の努力を重ねている。

三、自然災害の状況

次の表は昭和二〇年(一九四五)以降平成元年までの、中山町にも被害を及ぼしたと思われる、暴風、豪雨、洪水、地震のほか、干害や冷害など、主な自然災害である。愛媛県内で、人的被害・農林業関係に被害のあったものから、中山町に関係のあると思われるものを選定した。

昭和四二(一九六七)	六・二六	・台風(テラ台風) 県下全域で死者・不明三三四人、家屋の全半壊七〇戸
昭和四三(一九六八)	九・二〇	・台風(キジア台風) 県下で死者・不明六人、家屋の全半壊二九四戸
昭和四三(一九六八)	七月	・干害
昭和四三(一九六八)	二・三	・台風(ルース台風) 県下で死者・不明四四人、家屋の全半壊六二八〇戸
昭和四三(一九六八)	七・三〇	・地震 松山震度四、震源地、安芸灘
昭和四三(一九六八)	九・二三	・台風(一一二号台風) 県下で死者・不明三人、家屋の全半壊八一〇戸
昭和四三(一九六八)	九・二五	・台風(一一五号台風) 県下全域で死者・不明一六人、家屋の全半壊一九一七戸
昭和四三(一九六八)	九・二五	・台風(一五号伊勢湾台風)、県下で死者二人
昭和四三(一九六八)	八・二六	・台風(一一六号台風) 県下で死者一人、家屋の全半壊等三〇四戸
昭和四三(一九六八)	九・二四	・台風(一一八号第二室戸台風) 県下で死者一人
昭和四三(一九六八)	一月	・大雪・雪害(三八豪雪) 県下で死者一人、家屋の全半壊三八九三戸、県下全域で農林関係

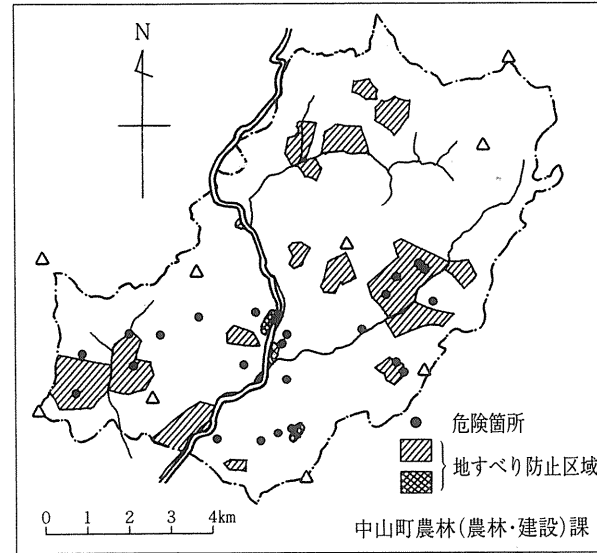


図3-7 中山町の地すべり・急傾斜危険区域図

区域の間隙水圧を高めて、地すべりが発生すると考えられている。

町内には、災害の発生が予想される箇所も少なくない。建設省指定の地すべり防止地区が二ヶ所、農林水産省構造改善局の指定が一七地区、愛媛県指定の急傾斜地崩壊

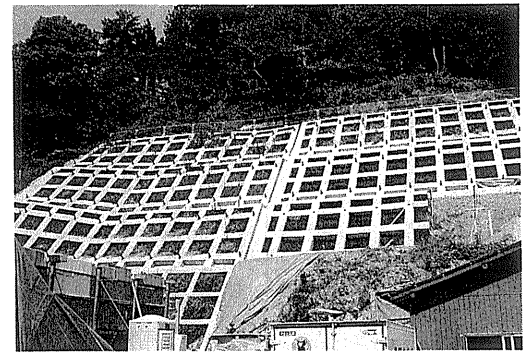


写真3-1 地すべり防止工事(泉町)

危険区域が三ヶ所もあり、中山町が行った、がけ崩れ危険箇所調査では自然斜面で二六ヶ所もある。それらの指定面積は、およそ一〇平方キロメートル以上となり、中山町の総面積の一五パーセン

にも達する。

これらの多くは、地すべり防止工事が行われ、既に完了しているところもある。

土砂災害以外の台風、大雨・集中豪雨、雪害、干害、冷害、霜害などの気象災害も、農林業関係をはじめ、土木事業などに大きな影響を及ぼしてきた。

洪水などの水災害、地震災害なども、中山町の地形や

昭和六(一九六三)	四月 ～六月	に被害 中山で八〇センチの積雪記録
昭和六(一九六三)	八・八 ～一〇	・長雨 中山の三か月間総雨量七六六ミリ ・台風(九号台風) 県下で死者不明二人、家屋の全半壊等五七戸
昭和九(一九六四)	八・三 ～一五	・台風(二〇号台風) 県下で死者一人、家屋の全半壊等六三五戸
昭和四(一九六五)	九・九 ～一〇	・台風(二三号台風) 県下で死者・不明二人、家屋の全半壊等八戸
昭和四(一九六六)	九・九	・台風(一九号台風) 県下で死者一人
昭和四(一九六七)	六月 ～九月	・干害 中山九月九日の雨量五二ミリ 中山の四か月間総雨量四五三ミリ
昭和四(一九六七)	七・八 ～九	・大雨 鳥下と中予山間部で被害 鳥下で死者九人、家屋の全半壊等一二二戸、中山七月九日の雨量一〇五ミリ
昭和四(一九六八)	二月	・雪害 東中予で農林関係に被害
昭和四(一九六八)	四・一	・地震(一九六八年日向灘地震) 震度松山四、震源地、日向灘
昭和四(一九六八)	八・六	・地震 震度、大洲・宇和島五、松山四、
昭和四(一九六八)	八・三 ～一五	震源地、宇和島湾 家屋の亀裂多数にのぼる。 ・台風(一〇号台風) 県下で死者一人 中山八月二六日雨量八五ミリ
昭和四(一九六九)	六・三 ～七・〇	・大雨 県下で死者二人、家屋の全半壊等一九戸、
昭和四(一九六九)	八月 ～二月	中山の期間総雨量四一三ミリ
昭和四(一九七〇)	三月	・干害 中山の期間総雨量二七五ミリ
昭和四(一九七〇)	四月 ～六月	・低温 中山の三月平均気温五・五度
昭和四(一九七〇)	八月 ～六月	・長雨 県下全域で農林関係に被害 中山の期間総雨量六一八ミリ
昭和四(一九七〇)	八・二 ～三	・台風(九号台風・一〇号台風) 県下で死者二人、家屋の全半壊等一一八戸
昭和四(一九七〇)	八・四 ～五	中山の期間総雨量二八一ミリ
昭和四(一九七〇)	六・六 ～七・三	・台風(一九号台風) 県下で死者五人、家屋の全半壊等七戸
昭和四(一九七〇)	五・七 ～八	中山の二日間雨量一二二ミリ ・台風と大雨(一〇号台風) 県下で死者五人 中山の期間総雨量六三四ミリ ・台風と大雨(一〇号台風) 県下で死者一人 中山の期間総雨量一〇〇ミリ

昭和四(一九七〇)	九・一 ～九・八	・台風(一六号台風) ・台風(一八号台風) 県下で死者五人 中山雨量一二九ミリと一二五ミリ
昭和五(一九七五)	八・七 ～一六	・台風(五号台風) 県下で死者三人 中山の二日間雨量一〇〇ミリ
昭和五(一九七六)	九・九 ～三	・台風(一七号台風) 県下で死者一人、家屋の全半壊等五九〇戸
昭和五(一九七六)	一月 ～三月	中山の期間総雨量三八六ミリ
昭和五(一九七六)	八・六	・異常低温 県下全域、とくに南予で農林関係の被害大
昭和五(一九七六)	八月 ～六月	・大雨 中山一月平均気温一・八度 二月平均気温二・〇度
昭和五(一九七六)	七月 ～一月	・大雨 県下で死者一人 中山で一時間降水量五八ミリ
昭和五(一九七六)	九・二 ～四	・干害 県下全域で雨量少なく、農作物に被害
昭和五(一九七六)	五・二	中山の七月雨量二九ミリ ・台風(一二号台風) 宇和島付近に再上陸、県下で死者二人 中山の期間総雨量一三三ミリ
昭和五(一九七六)	八・七	・霜 山間部を中心に、タバコ・茶・桑などの農作物に被害 中山の最低気温二・二度
昭和五(一九七六)	六・六 ～七・三	・ひょう 大洲付近で降ひょう、農作物に被害
昭和五(一九七六)	七月 ～一〇月	・長雨(大雨)と低温 県下全域で、七月から八月下旬にかけて長雨 中山の降水量七月五一ミリ、八月四四ミリ
昭和五(一九七六)	九・三 ～二	・台風(一二三号台風) 県下で死者二人
昭和五(一九七六)	二・三 ～一六	・低温 県下で死者一人
昭和五(一九七六)	七・二 ～九	中山の最低気温マイナス七・〇度
昭和五(一九七六)	九・二 ～三	・大雨 中山の期間降水量三一九ミリ
昭和五(一九七六)	八・三 ～五	・台風(一九号台風) 宇和島付近に上陸、大洲付近を通過 県下で死者二人 中山の降水量七八ミリ
昭和五(一九七六)	七・三 ～九	・小雨(干害) 県下全域で農作物に被害大
昭和五(一九七六)	八・三	中山の期間総雨量八二ミリ
昭和五(一九七六)	一・九	・地震 震度松山・宇和島四、
昭和五(一九七六)	八・七	・大雪 中山の積雪二七センチ
昭和五(一九七六)	三・七	・地震 震度宇和島四、震源地日向灘
昭和五(一九七六)	八・七	・大雪 中山の積雪一八センチ
昭和五(一九七六)	八・七	・地震 震度宇和島四、震源地愛媛県南西部

昭和六(一九六)	一・六	・大雪 中山の積雪二〇センチ
昭和六(一九七)	一・三 〇・四	・大雪 中山の積雪二五センチ
昭和三(一九八)	六・三 〇・五	・大雨 県下で死者四名 中山の期間総雨量二二〇ミリ

昭和三(一九八)	〇月七 〇日 平成元年 二月中旬	・小雨 県下全域で小雨 中山の一〇月から二月の期間総雨量一七七ミリ
平成元(一九九)	九・一 九	・台風(二二号台風) 県下で死者四名 中山の雨量一六四ミリ